

7 小中高を通じた、4技能5領域の総合的な向上をめざして

—「新・大阪版CAN-DOリスト」を活用した授業づくり—

【令和4年度 英語教育推進事業フォーラム】 大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課 教務G / 教育振興室 高等学校課 教務G

小・中・高の学びをつなぐ「STEPS in OSAKA」

児童生徒1人ひとりの学習到達度に応じ、1人1台端末を使用して
個別最適な学びを実現するための学習ツール

今年度、大阪府では、『小中高を通して、大阪の子どもたちの4技能5領域の資質・能力（聞く・読む・話す（やり取り）・話す（発表）・書く）を総合的に向上させる』ことを目的とし、「新・大阪版CAN-DOリスト」と学習ツール「STEPS in OSAKA」を作成しました。STEPS開発WGメンバーが活用・検証した実践報告、また講演を通して、「すべての子どもたちの、英語によるコミュニケーション能力を高める授業づくり」について考えます。

■実践報告 「新・大阪版CAN-DOリスト」及び「STEPS in OSAKA」を活用した学び

すべての子どもたちの、英語によるコミュニケーション能力を高めることを目的とし、STEPS開発WGメンバーが、どのように取組みを進め、どのように子どもたちが変容したのか、成果と課題とともに実践報告をさせていただきます。

■講演 「小中高を通じた、4技能5領域の総合的な向上をめざして」 —「新・大阪版CAN-DOリスト」を活用した授業づくり— 玉川大学 文学部 英語教育学科 工藤 洋路教授

小・中・高の学びをつなぐために、それぞれの校種で意識しておくこと、また「新・大阪版CAN-DOリスト」を活用した「これから求められる子どもたちの学びの可能性」について、グループワークを交えながらご講演いただきます。



参加者のアンケートより

- ・工藤先生のご講演は、STEPS in OSAKAや大阪版CAN-DOリストの具体的な活用方法をイメージしやすく、とても勉強になりました。
- ・後半にパネルディスカッションの形式で私たちからの質問をまとめ、それに対して答えていただく時間がとても有意義でした。
- ・パネルディスカッションがとても良かったです。市で行う研修も同じような形態で行ってみたいと思います。大阪府版CAN-DOリスト、早く配信、配布されることを待っています。
- ・高校の先生と様々なことについて交流できたことがとても良かったです。校種によって、CAN-DOリストの捉え方が違うので、まずはそこから校区の人と話し合っていく必要性を感じました。